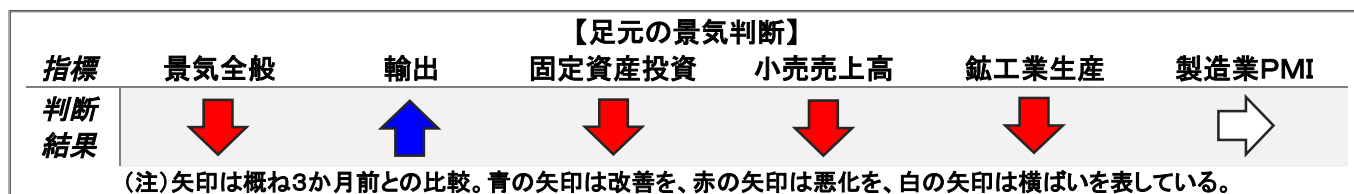
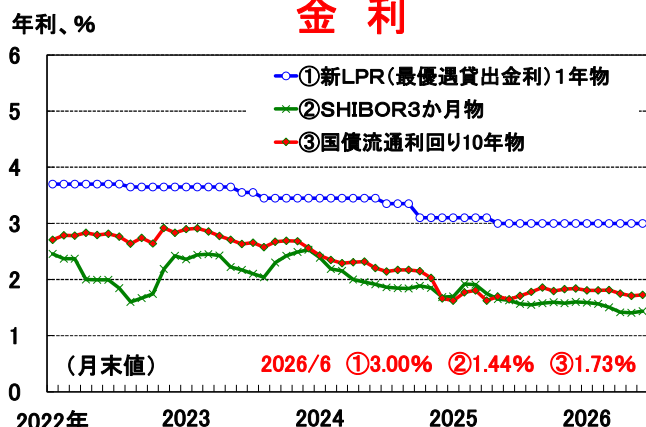


グラフで見る中国経済 2026年7月号(No. 206)

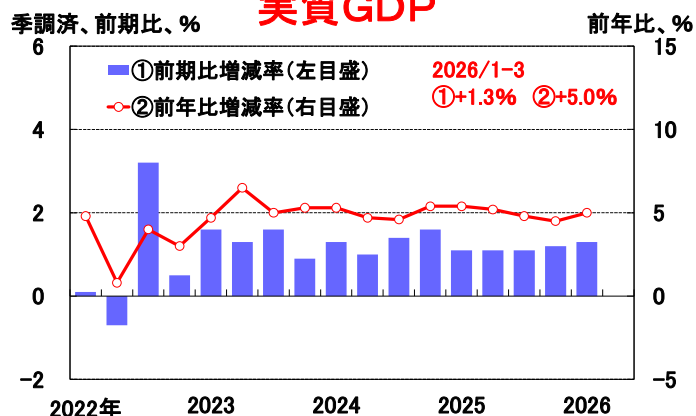
中国景気は一段と弱含んでいる。5月の指標をみると、輸出が前年比+19.4%と堅調に増加したものの、固定資産投資は同-12.3%と2桁減に落ち込んだ。固定資産投資の内訳では、住宅購入を控える動きが強まる中で、不動産業は2か月連続で減少幅が拡大した。また、個人消費の動向を示す小売売上高は前年比-0.6%と減少に転じた。内訳をみると、耐久消費財の買い替え支援策の効果が一巡したことなどを背景に、自動車と家電は減少幅が拡大し、通信機器も減速した。こうした中で、鉱工業生産は同+4.5%と伸び悩んだ。



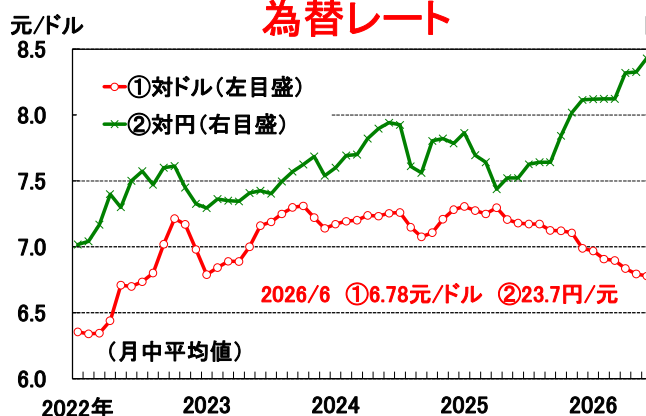
金利



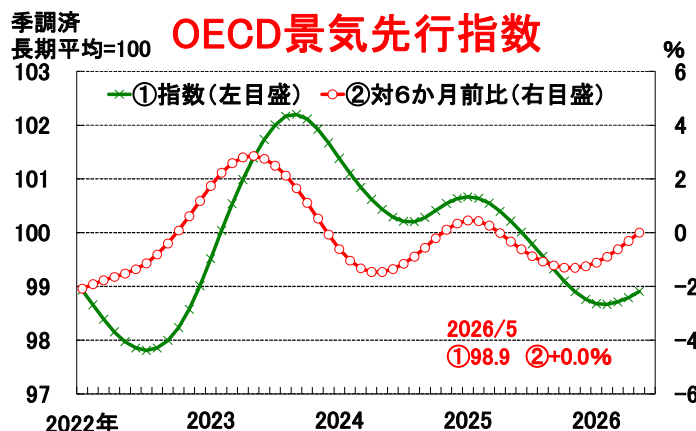
実質GDP



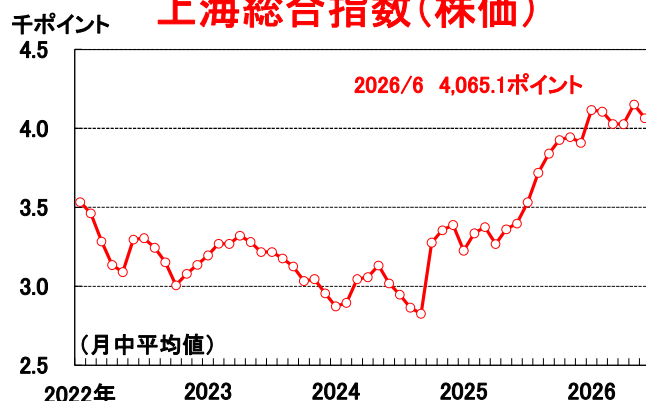
為替レート



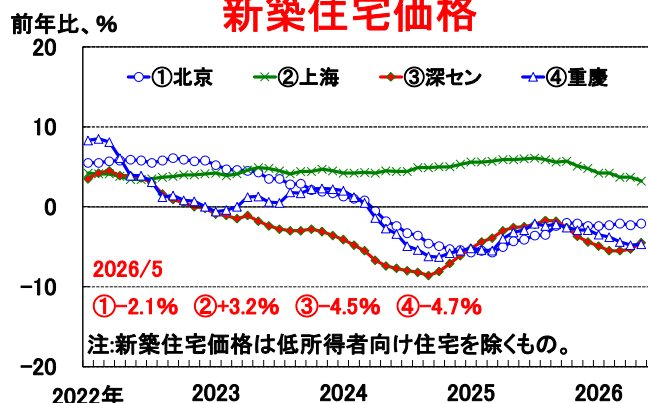
OECD景気先行指数



上海総合指数(株価)

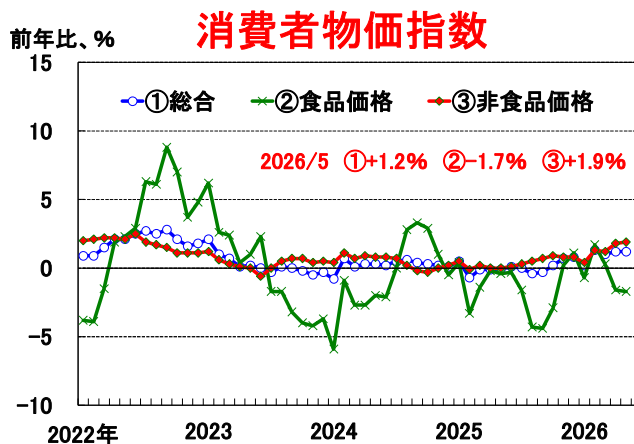
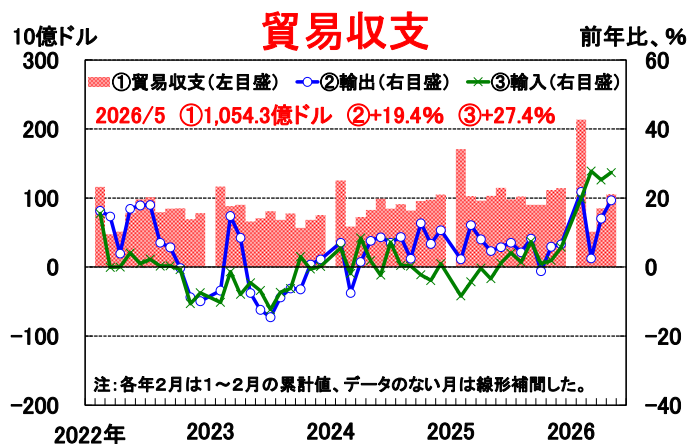
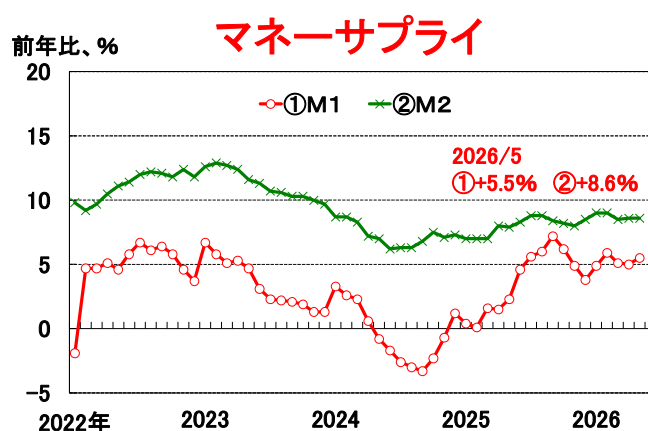
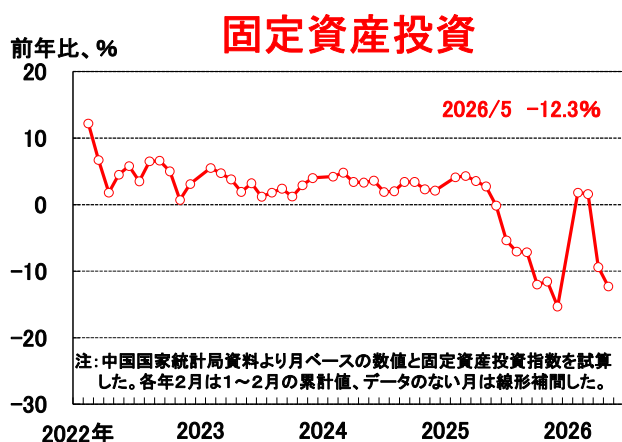
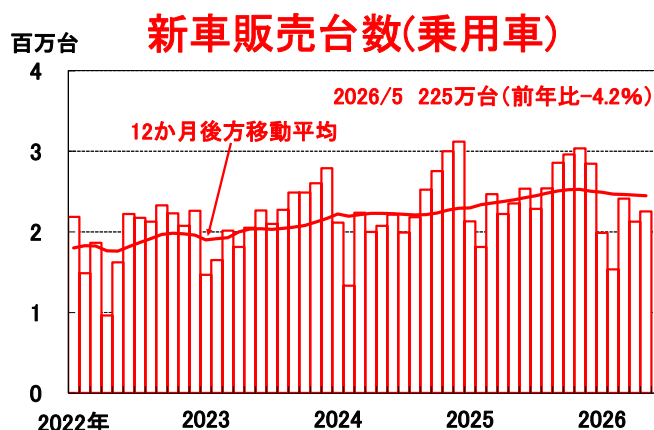
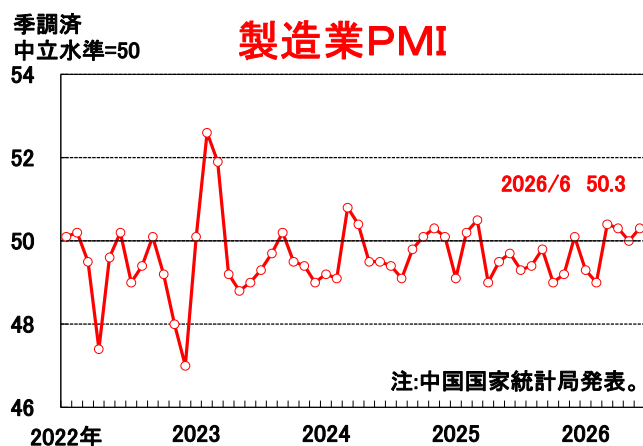
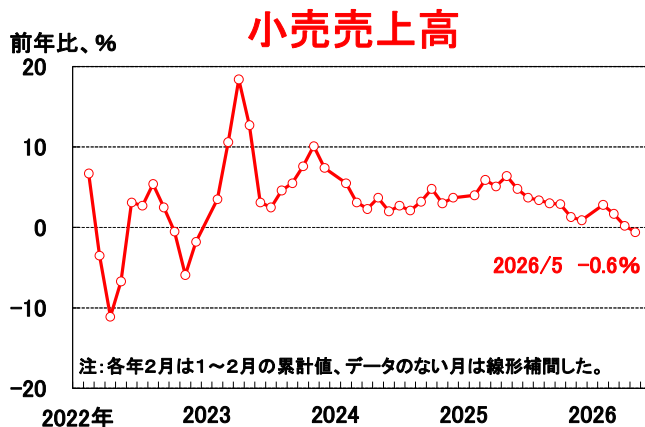
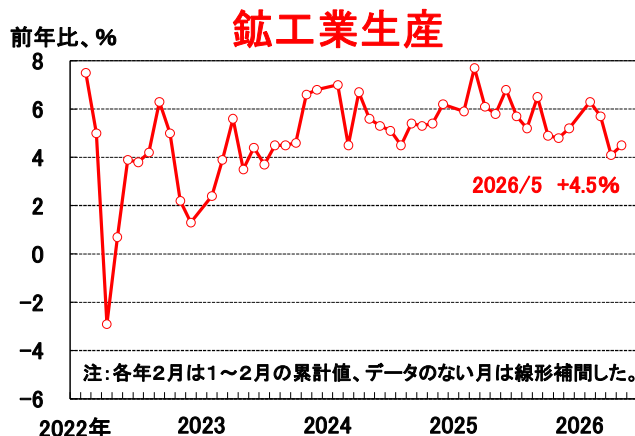


新築住宅価格



(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。